**色の表現**

**１．色に対するクラスの印象**　指定したデータを開き，直感でいいので色の印象を素直に答えてみましょう。

　クラスの色の印象は，どうでしたか？色の感じ方は個人差があり，文化の違いによっても印象が違ってきますが，人間として無意識に反応してしまう部分もあるので，その部分を学び，分かりやすい情報表現に生かしていきましょう。

※本時に使用するウェブサイト『COLOR NOTE』をブラウザで開きましょう。

**２．色の分類**色とは・・・【無彩色】白，黒，灰色（色味のない色）
　　　　　 【有彩色】赤，青，緑など（白，黒，灰色以外の色味のある色）

**３．色の３属性**色相（Hue） 【有彩色】の色味の性質
　　　　　　　　　　　⇒　色味ごとに整理し，円上に並べたもの【色相環】
　　　　　　　　　　　　（ウェブサイト「色を分類する　→　ＰＣＣＳ　を参照」）
明度（Lightness） 色の明るさ
　　　　　　　　　　⇒　最も明るいのが「白」，暗いのが「黒」
彩度（Saturation） 色の鮮やかさ（色味の強弱）
　　　　　　　　　　　⇒　最も色味が強いのが「純色」，最も弱くすると「無彩色」になる

**４．ソフトウェアPowerPointでの３属性の操作**①操作のプリントで学習した通り文字や図形の色の変更をする。
②「その他の色」を選択し，「色の設定」ダイアログボックスで「ユーザー設定」タブを選択。
③「カラーモデル」の▼をクリックし，「ＨＳＬ」を選択。

　⇒　「色合い【色相】」「鮮やかさ【彩度】」「明るさ
　　　【明度】」を操作して色を作成できる。

**５．色の感情**

【色相環上部】　暖かい　⇔　冷たい　【色相環下部】

【彩度　高】　　派手　⇔　地味　　【彩度　低】
【色相環上部】＋【彩度　高】　　興奮　⇔　沈静　　【色相環下部】＋【彩度　低】

【明度　高】　　軽い　⇔　重い　　【明度　低】
【明度　高】柔らかい　⇔　硬い　　【明度　低】
※　ただし，柔らかい印象に「白」は入らない

【色相環上部】or【明度　高】膨張・進出　⇔　収縮・後退【色相環下部】or【明度　低】

**６．配色**

①１～５まで色の印象からメインとなる色を決定。
②ウェブサイト「配色の見本帳」を利用し，「色検索配色探し」をクリック。
③色相環から色相を選択後，彩度・明度も選択し，「色の情報と配色の検索」をクリック。
④様々な配色方法が表示されるので参考にする。その際，色については表示されている「Ｒ」「Ｇ」「Ｂ」の０～２５５までの数値をメモする。
【基本的には「ベースカラーとアソートカラー」を参考にし，ベースカラーを引き立てる背景色を自分で設定】
【もし，背景色をメイン色にする場合は「アクセントカラー・ワンポイントカラー」を参考にしてもよい】

⑤「色の設定」ダイヤログボックスで「ユーザー設定」タブを選択。
⑥「カラーモデル」の▼をクリックし，「ＲＧＢ」を選択。

　⇒　メモを参考に「Ｒ」「Ｇ」「Ｂ」を操作して色を作成。

**７．対比による強調**

人間は色の違いを以下の優先順位で判断している。

明度の差　＞　色相の差（色相環で反対側の色【補色】に近いか）　＞　彩度の差

**８．実習**

上記の色使いを基に，以前作成した自分の作品を色のみ変更して，以下の感情の１つを表現し，他者へ適切に伝わるか確かめなさい。

【活発】　　【温和】　　【自然】　　【切なさ】　　【冷酷】　　【恐怖】

判定は，隣の席の人